

ボランティア活動支援

「ボランティア活動支援」の基本的な考え方

従業員が自発的に取り組むボランティア活動を支援し、支え合える地域づくりを目指しています。日本では「環境」「災害」「福祉」「スポーツ」を重点分野として、地域を取り巻くさまざまな課題の解決につながるようなプログラムを関係先の協力の下で企画・実施するとともに、社外から寄せられるボランティア情報を社内に紹介しています。

【事例紹介】

「トヨタボランティアセンター」

従業員が地域課題に取り組むきっかけとなるボランティア活動を支援

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

1993年に社内に設置され、従業員(家族・OB / OGを含む)を対象に、全工場・事業所と連携してボランティア活動の支援を行っています。「ボランティアに関心はあるが、活動するきっかけがない」という従業員に対し、センターの自主企画や地域の団体から寄せられる活動への参加を呼びかけるとともに、定期的に機関誌を発行して活動を広く紹介しています。

【これまでの実績】

ボランティア活動に参加している従業員は年間約3万人。新入社員や若手従業員対象の社内研修にも、ボランティア体験を織り込んでいます。



病院での車いす清掃

東日本大震災被災地復興支援活動

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

2011年3月11日に発生し、未曾有の被害となった東日本大震災。被災地の皆様が一日も早く平穏な生活を取り戻せるよう、トヨタグループ・関係会社では、発生3カ月後の2011年6月から岩手県気仙地区(大船渡市、陸前高田市、住田町)で、従業員による復興支援ボランティア活動を継続しています。

【活動内容】

2011～2012年	交通機関や宿泊施設の復旧もままならない中、4泊5日の日程で、トヨタ自動車のボランティアサークル「大型車運転友の会」のメンバーが運転するバスや、各社の会社バスなどで、愛知県あるいは東京都から岩手県へ移動。現地の災害ボランティアセンターなどで活動を紹介していただき、瓦礫の撤去や仮設住宅の整備などをお手伝いしました。
2013～2017年	仮設住宅団地での整備や草刈りなどの生活支援のほかに、地元の行政や観光協会、NPOの方々にもご協力いただき、お祭りの手伝いや子ども向け工作教室なども行い、現地の方々と、より深くふれあい、「人と人の交流」を行いました。2017年は3年目となるりんご農園での活動、新たに陸前高田復興応援マラソンのお手伝いなどを実施しました。



漁港での養殖用漁具の整備 (2011年)



りんご園でのお手伝い (2015年)

アフリカ諸国給食支援活動「TABLE FOR TWO」プログラムに参加

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

認定NPO法人「TABLE FOR TWO International」による、飢餓で苦しむアフリカ子どもたちへの支援と、従業員の生活習慣病予防を同時に行う「TABLE FOR TWO」プログラムに賛同。2011年6月より毎週水曜日に、社内食堂でカロリーを抑えたヘルシーランチを食べると、従業員から10円、会社から10円を上乗せした合計20円を、アフリカの子どもたちの学校給食1食分として寄付しています。気軽な活動機会を提供し、多くの従業員のボランティア意識向上を図っています。

【これまでの実績】

2015年5月、社内の全工場・事業所の食堂への導入を完了。2017年度の寄付金額約340万円（学校給食約17万食分）。2011年度からの寄付金額は累計で約2,014万円。



従業員食堂での喫食でアフリカの子どもたちの学校給食を支援

Web <https://jp.tablefor2.org/>

「アカウミガメの産卵地保全ボランティア活動」 貴重な生態系を従業員の手で育む

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

アカウミガメの産卵地として知られる愛知県渥美半島の表浜海岸は、天竜川供給土砂の減少などによって、砂浜の浸食が進み、生態系への影響が懸念されています。そこで、2011年から年1回、表浜海岸に近い田原工場と本社地区の従業員と家族100人以上が集まり、NPO法人「表浜ネットワーク」「あかばね塾」と協働し、砂浜で増えすぎた竹を伐採して、砂浜を保全する役割を果たす堆砂垣^{たいさかき}などを製作・設置しています。また参加者全員で海岸清掃も行い、5月から産卵に来るアカウミガメを迎える準備をしています。

【これまでの実績】

2011～2017年度まで、本社・田原工場で約1,100人が参加。2018年3月の活動には150人が参加しました。



竹を使って砂の飛散を防ぎ、アカウミガメの産卵に適した砂浜に再生

「人工林での森林整備（間伐）ボランティア」 豊かで美しい森づくりに取り組む

日本 | 主体：トヨタ自動車 (TMC)

【概要】

愛知県足助町（現 愛知県豊田市）において、「森林を守ろう!」という有志が集まり、下草刈りや枝打ちなどを行う森林整備活動を2000年より開始しました。2008年には社内にボランティアサークル「トヨタ森林キーパーズ」を作り、愛知県豊田市と協定を結んで市有林の森林整備を協働で行うなど、活動の場を拡大しています。混み合った木を間引きし、森を健康にする間伐作業は、参加者自身も自然に浸って健康になることができます。また、整備した際の間伐材を利用し、地域の方々を対象とした工作教室などを開催しています。

【これまでの実績】

2008年からの累計は、活動回数540回、参加者数5,516人、人工林の間伐数8,043本。



健全な森林とするために、安全に十分配慮しながら間伐を実施



工作教室に参加した子どもたち